

10/502390

PCT/JP03/00907
Rec'd PCT/PTO 26 JUL 2004

日本国特許庁

30.01.03

JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2002年 1月31日

出願番号

Application Number:

特願2002-024699

[ST.10/C]:

[JP2002-024699]

出願人

Applicant(s):

株式会社吉野工業所

REC'D 28 MAR 2003

WIPO

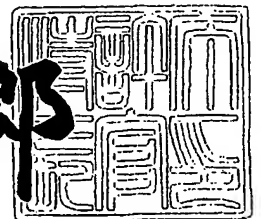
PCT

PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2003年 3月11日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証特2003-3014877

BEST AVAILABLE COPY

【書類名】 特許願

【整理番号】 02-01-25

【提出日】 平成14年 1月31日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 B65D 47/00

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府茨木市宇野辺 1 丁目 6 番 9 号 株式会社吉野工業
所 大阪工場内

 【氏名】 古澤 光夫

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府茨木市宇野辺 1 丁目 6 番 9 号 株式会社吉野工業
所 大阪工場内

 【氏名】 小林 勉

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都江東区大島 3 の 2 の 6 株式会社吉野工業所内

 【氏名】 早川 茂

【特許出願人】

 【識別番号】 000006909

 【住所又は居所】 東京都江東区大島 3 の 2 の 6

 【氏名又は名称】 株式会社 吉野工業所

 【代表者】 吉野 祥一郎

【代理人】

 【識別番号】 100068157

 【住所又は居所】 東京都豊島区目白 3 - 1 4 - 1 9 シャンツェ岩倉 4 F

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 今岡 良夫

 【電話番号】 03(3953)8041

【選任した代理人】

 【識別番号】 100113169

【住所又は居所】 東京都豊島区目白 3 - 1 4 - 1 9 シャンツェ岩倉 4 F

【弁理士】

【氏名又は名称】 今岡 憲

【電話番号】 03(3953)8041

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 008822

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書
【発明の名称】 櫛付き塗布容器
【特許請求の範囲】

【請求項 1】 柄付き櫛を中空として、柄下端に付設したキャップ状部を、デラミ容器体の口頸部外面へ嵌合させ、かつ容器体内液体を上記柄内を通して櫛歯から流出させることが可能に設けた櫛付き塗布容器において、

上記柄32とキャップ状部21とを分離して、キャップ状部21からシリンダ11をデラミ容器体 1 内へ垂下すると共に、柄32から上記シリンダ11内へステム41を垂下して該ステム下端部に筒状ピストン44を付設し、上記デラミ容器体1及びキャップ状部21に対して、柄付き櫛31を介して筒状ピストン44付きステム41を上方付勢させかつ上下可能に形成したことを特徴とする櫛付き塗布容器。

【請求項 2】 上記柄32の下部から側外方へ押下げ棒34を突出したことを特徴とする、請求項 1 記載の櫛付き塗布容器。

【請求項 3】 上記シリンダ11上部内へ、該シリンダ上端部へ固着させた筒状ピストン拔出し防止筒51を嵌挿させたことを特徴とする、請求項 1 乃至請求項 2 記載の櫛付き塗布容器。

【請求項 4】 上記キャップ状部21は、上記デラミ容器体 1 の口頸部 5 外面へ周壁23下半部を嵌合させると共に、該周壁中間部から突出した内向きフランジ状壁25,27の内周部を上記シリンダ11へ連続形成しており、かつ、上記柄32の下端部を拡開させて、該拡開筒部73を上記キャップ状部周壁23の上半部内へ上下動自在に嵌合させると共に、上記下端部を除く柄部分と拡開筒部との間に押下げ操作用の肩部72を介在させ、かつ上記拡開筒部73内面へ上記ステム41上端部に付設した外向きフランジ46外縁を液密に嵌合させると共に、該外向きフランジ下面と上記内向きフランジ状壁25,27との間に上方付勢用のスプリング48を介装したことを特徴とする、請求項 1 記載の櫛付き塗布容器。

【請求項 5】 上記デラミ容器体 1 の外側層1Aを、保形性を有する剛性層としたことを特徴とする、請求項 1、請求項 2、請求項 3、又は請求項 4 記載の櫛付き塗布容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の利用分野】

本発明は、整髪料などを収納するための櫛付き塗布容器に関する。

【0002】

【従来技術】

櫛付き塗布容器の容器部分として、内容液を気密に保つため外側層からの内側層の剥離と変形とが可能な2層構造のいわゆるデラミ容器体を使用することが知られており、例えば特開2001-146260号では、多数の吐出孔付き櫛歯を有する中空櫛の柄下端を、キャップ状部材頂壁から起立する注出筒へ嵌合させ、かつそのキャップ状部材をデラミ容器体の口頸部へ外嵌させると共に、デラミ容器体底部の外側層部分に小径の外気導入口を開口し、胴部を圧搾すると内容液が上記柄内を経て櫛歯から吐出され、上記圧搾を開放すると外側層が内側層から剥離して原形復帰し、これら両層間へ外気導入口から空気が流入するように構成している。

【0003】

【発明の解決しようとする課題】

上記容器では、圧搾した外側層が原形に復原するまでは次の圧搾操作をすることができないので、例えば頭髪を櫛で梳きながら少量づつ塗り足すときに、迅速に連続圧搾することができない。又、胴部が変形容易だからその胴部へ印刷することが困難であり、又、その胴部表面をシュリンクフィルムで覆合したときには、胴部圧搾によりそのフィルム表面にしわができ易く、体裁を損なう。

【0004】

本発明は、上記問題点を解決するため、中空櫛の柄に連通するステム下端に付設した筒状ピストンと容器内に設けたシリンダとで形成するポンプを有する櫛付き塗布容器、及び、上記ステム押下げ用の押下げ棒乃至肩部を上記柄の一部とした櫛付き塗布容器を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

第1の手段は、柄付き櫛を中空として、柄下端に付設したキャップ状部を、デラミ容器体の口頸部外面へ嵌合させ、かつ容器体内液体を上記柄内を通して櫛歯

から流出させることが可能に設けた櫛付き塗布容器において、

上記柄32とキャップ状部21とを分離して、キャップ状部21からシリンダ11をデラミ容器体1内へ垂下すると共に、柄32から上記シリンダ11内へステム41を垂下して該ステム下端部に筒状ピストン44を付設し、上記デラミ容器体1及びキャップ状部21に対して、柄付き櫛31を介して筒状ピストン44付きステム41を上方付勢させかつ上下可能に形成している。

【0006】

第2の手段は、上記第1の手段を有し、かつ上記柄32の下部から側外方へ押下げ棒34を突出している。

【0007】

第3の手段は、上記第1の手段又は第2の手段を有し、かつ上記シリンダ11上部内へ、該シリンダ上端部へ固着させた筒状ピストン拔出し防止筒51を嵌挿させた。

【0008】

第4の手段は、第1の手段を有し、かつ上記キャップ状部21は、上記デラミ容器体1の口頸部5外面へ周壁23下半部を嵌合させると共に、該周壁中間部から突出した内向きフランジ状壁25,27の内周部を上記シリンダ11へ連続形成しており、かつ、

上記柄32の下端部を拡開させて、該拡開筒部73を上記キャップ状部周壁23の上半部内へ上下動自在に嵌合させると共に、上記下端部を除く柄部分と拡開筒部との間に押下げ操作の肩部72を介在させ、かつ上記拡開筒部73内面へ上記ステム41上端部に付設した外向きフランジ46外縁を液密に嵌合させると共に、該外向きフランジ下面と上記内向きフランジ状壁25,27との間に上方付勢用のスプリング48を介装した。

【0009】

第5の手段は、第1の手段、第2の手段、第3の手段、又は第4の手段を有し、かつ上記デラミ容器体1の外側層1Aを、保形性を有する剛性層とした。

【0010】

【発明の実施の形態】

以下図面について説明する。まず図 1 と図 2 とが示す第 1 実施形態について説明すると、1 はデラミ容器体で胴部 3 上端から肩部 4 を介して雄ねじ筒としての口頸部 5 を起立している。該容器体は外側層 1A と内側層 1B とを剥離可能に接合させており、外側層 1A 口頸部分下端には内外層間へ流入させて内側層を剥離させるための外気流入孔 6 を穿設している。その外側層は弾性圧搾不能な剛性層としている。

【0011】

上記容器体内へは、シリンダ 11 を垂下する。該シリンダは上部外面に有する外向きフランジ 12 を容器体口頂面へ係合させており、シリンダ 11 下端部に吸込み弁 13 を有して、該吸込み弁と連通させて溝縦設杆 14 をシリンダ 11 下端から垂下し、その縦溝 14a を通って、又吸込み弁 13 を通って容器体内液体がシリンダ 11 内へ吸入されるように設けている。

【0012】

上記外向きフランジ 12 は、キャップ状部 21 により容器体口頂面とキャップ状部 21 の内向きフランジ 22 とで挟持させる。該キャップ状部は、容器体口頸部外面へ螺合させた周壁 23 上端に上記内向きフランジ 22 を付設している。

【0013】

上記シリンダ 21 内へは、柄付き中空柄 31 の柄 32 下端から垂下させた、従来公知の縦形ポンプの作動部を上下動可能に、かつ上方付勢させて嵌合させる。該作動部としては、ステム下端に筒状ピストンを有し、かつステムが形成する流出路途中に吐出弁を有すればよく、ステム上端に嵌合させた吐出部、本発明にあっては柄付き中空櫛 31 を付勢に抗して押下げ、かつ上昇させることで容器体内液体が吸込み弁 13 を介してシリンダ 11 内へ吸込みされ、かつシリンダ内液体が吐出弁を介して柄付き中空櫛 31 が有する吐出孔 33 から流出できればよい。

【0014】

図示例では、ステム 41 を上下 2 部材で、有底の下方ステム部分 42 上部を上方ステム部分 43 の下端部内へ緊密に嵌合固着させ、下方ステム部分下端には外向きフランジ 12 を付設して、該外向きフランジ 12 と上方ステム下端との間の下方ステム部分外面へ筒状ピストン 44 を上下動自在に嵌合させ、外向きフランジ状方のステ

ム部分に穿設した吐出弁孔45を、ステム下降時には筒状ピストン44が上方移動により開口し、かつステム上昇時には筒状ピストンが下降することで閉塞可能としている。

【0015】

柄付き中空櫛31は、中空柄32下端内に上記上方第2ステム部分43の上端部を緊密に嵌合させている。中空柄下端は、雄ねじ筒としている。又、雄ねじ筒上方の柄部分からは、押下げ棒34を外方へ突出させている。

【0016】

51は、シリンダ11の上端部に嵌合させた既述作動部の拔出し防止筒で、該防止筒も公知のように形成すればよい。該防止筒の鋸状頂壁52内周から垂下する内筒53は、上記中空柄下端を螺合させることで柄付き中空櫛31を下降位置で保持させることができる。

【0017】

図3と図4とは、第2実施形態を示す。該実施形態は、シリンダ11及び作動部等を他の構造に代えたものであり、同一部分については同一符号を付することで説明を省略する。

【0018】

シリンダ11は、キャップ状部21と一体に成形しており、容器体口頸部5外面へ、周壁23である連結筒体下半を螺合させると共に、該筒体の中間部内面に付設した第1内向きフランジ状壁25内周から垂下筒26を介して第2内向きフランジ状壁27を突出し、該壁内周から溝縦設杆嵌合筒15を垂下し、又第2内向きフランジ状壁の径方向中間部からシリンダ11を起立し、該シリンダ外面へは、シリンダ11上端部内面への折返し筒部62を有する筒体61を嵌合させている。又、シリンダ11内方の第2内向きフランジ状壁27が有するフランジ孔を弁孔として、該弁孔上面を閉塞する弁板13a外面とシリンダ下端内面へ嵌着させた短筒16とを数個の弾性片で連結して吸込み弁13を形成している。

【0019】

柄付き中空櫛31の中空柄32下端には、上下方向中間部を外方へ広げて、上向き段部としての肩部72とし、かつ下部を大径の拡開筒部73とした押下げ用筒71の上

方小径部74を嵌合させている。又該押下げ用筒の拡開筒部73内へは、ステム41の外向きフランジ46として、ステム嵌着筒81を中央部から垂下する連結部材を嵌着させ、上記嵌着筒内へ上筒部を嵌着させた有底かつ下部大外径のステム41を垂下し、又、上記ステム嵌着筒内部を大内径とし、該大内径部内方とステム下部の大外径部分との間のステム部分外面へ筒状ピストン44を上下動自在に嵌合させ、該筒状ピストン上下動により開閉される吐出弁孔45を上記ステム部分に穿設している。

【0020】

該第2実施形態の場合は、上記肩部72を付勢に抗して押下げすることで筒状ピストン44停止状態のままステム41等が押し下げられ、次いで筒状ピストン44がステム嵌着筒81下端で共に押し下げられることでシリンダ11内が高圧化して該シリンダ内液体が吐出弁孔45、ステム41、中空柄32内を通して各歯歯35に穿設した吐出孔33から流出され、上記押下げを離すと、スプリング48の押上げによりまずステム等が上昇して筒状ピストン44が吐出弁孔45を閉じた後、更に該筒状ピストンも共に上昇することでシリンダ11内が負圧化し、該負圧化により溝縦設杆14の縦溝14aが吸込み弁13を通して容器体内液体がシリンダ11内へ吸込みされる。

【0021】

図5は、第2実施形態の変形例を示すもので、容器体1の底壁2を左右方向に切断して、該切断部において両外側層1A、1A端部の間に内側層1B、1B端部を挟持させ、デラミ容器体1内部がポンプ操作により負圧化されたときに、内側層1Bの下端部がデラミ容器体1内へ引き込まれることを防止し、内側層1B内の全ての内容液をシリンダ11内へ吸入することが容易に設けたものである。

【0022】

【発明の効果】

本発明は上記構成のものであり、請求項1の発明によれば、デラミ容器体に内装するシリンダ11内に筒状ピストン44を嵌挿し、そのポンプ操作によりデラミ容器体内の液体を吸上げかつ吐出するように設けたから、デラミ容器体胴部を圧搾して内容液を注出する場合の如く、該圧搾後胴部3が弾性復原する迄の間に次の注出操作をすることができないということがない。

【0023】

請求項2及び請求項4の発明によれば、中空櫛31の柄32下部乃至下端部にステム41押下げ操作の押下げ棒34又は肩部72を形成したから、その押下げ操作が容易であり、特にデラミ容器体1の上部を手で把持して髪を梳く作業の途中でその手のうちの一指で上記押下げ棒34乃至肩部72を押し下げることにも可能であり、該押下げの際に容器を握りかえる必要がないので使い勝手が良い。

【0024】

請求項3の発明によれば、上記シリンダ11上部内へ、該シリンダ上端部へ固着させた筒状ピストン拔出し防止筒51を嵌挿させたから、その筒状ピストンの拔出しを確実に防止することができる。

【0025】

請求項5の発明によれば、上記デラミ容器体1の外側層1Aを、保形性を有する剛性層としたから、デラミ容器体胴部3の表面に印刷をするときに、該表面が変形して印刷が困難となることがなく、又、上記胴部表面をシュリンクフィルムで覆合したときに胴部の屈曲によりシュリンクフィルムにしわができることがない。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の第1実施形態に係る容器の半縦断面図である。

【図2】 図1のII-II線方向の断面図である。

【図3】 本発明の第2実施形態に係る容器の半縦断面図である。

【図4】 図3容器の上面図である。

【図5】 図3容器の変形例の半縦断面図である。

【符号の説明】

1…デラミ容器体 2…底壁 3…胴部 4…肩部 5…口頸部

6…外気流入孔

11…シリンダ 12…外向きフランジ 13…吸込み弁 13a…弁板

14…溝縦設杆 14a…縦溝 15…溝縦設杆嵌合筒 16…短筒

21…キャップ状部 22…内向きフランジ 23…周壁

25…第1内向きフランジ状壁 26…垂下筒 27…第2内向きフランジ状壁

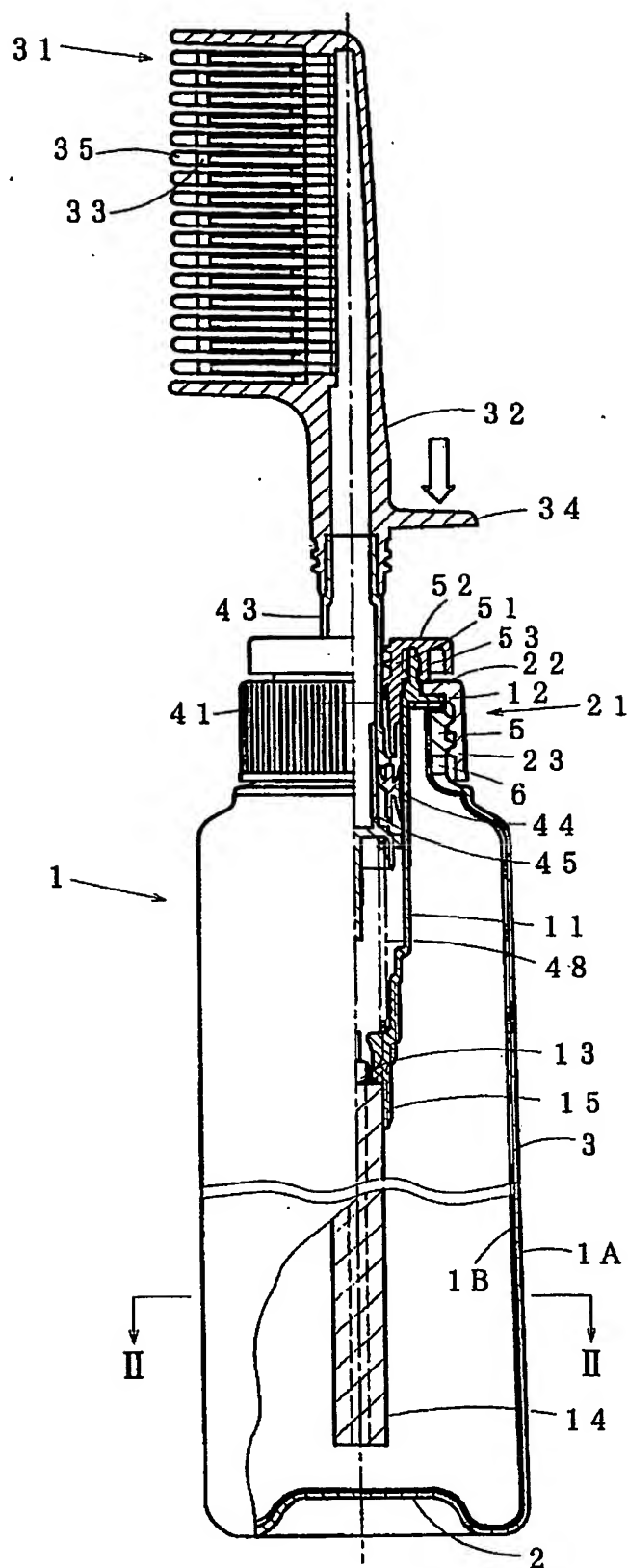
31…櫛 32…柄 33…吐出孔 34…押下げ棒 35…櫛歯
41…ステム 42…下方ステム部分 43…上方ステム部分 44…筒状ピストン
45…吐出弁孔 46…外向きフランジ 48…スプリング
51…拔出し防止筒 52…鋸状頂壁 53…内筒
61…筒体 62…折返し筒部
71…押下げ用筒 72…肩部 73…拡開筒部 74…上方小径部
81…ステム嵌着筒

特 2 0 0 2 - 0 2 4 6 9 9

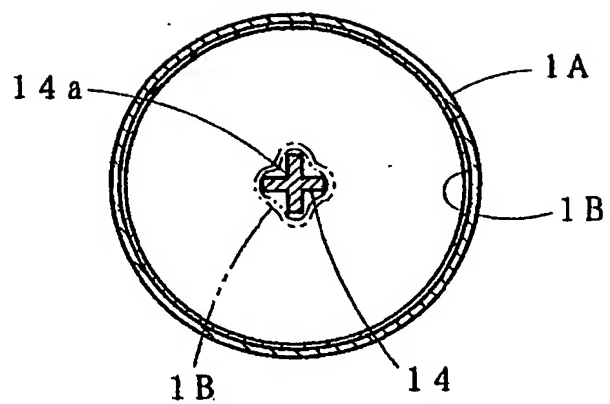
【書類名】

図面

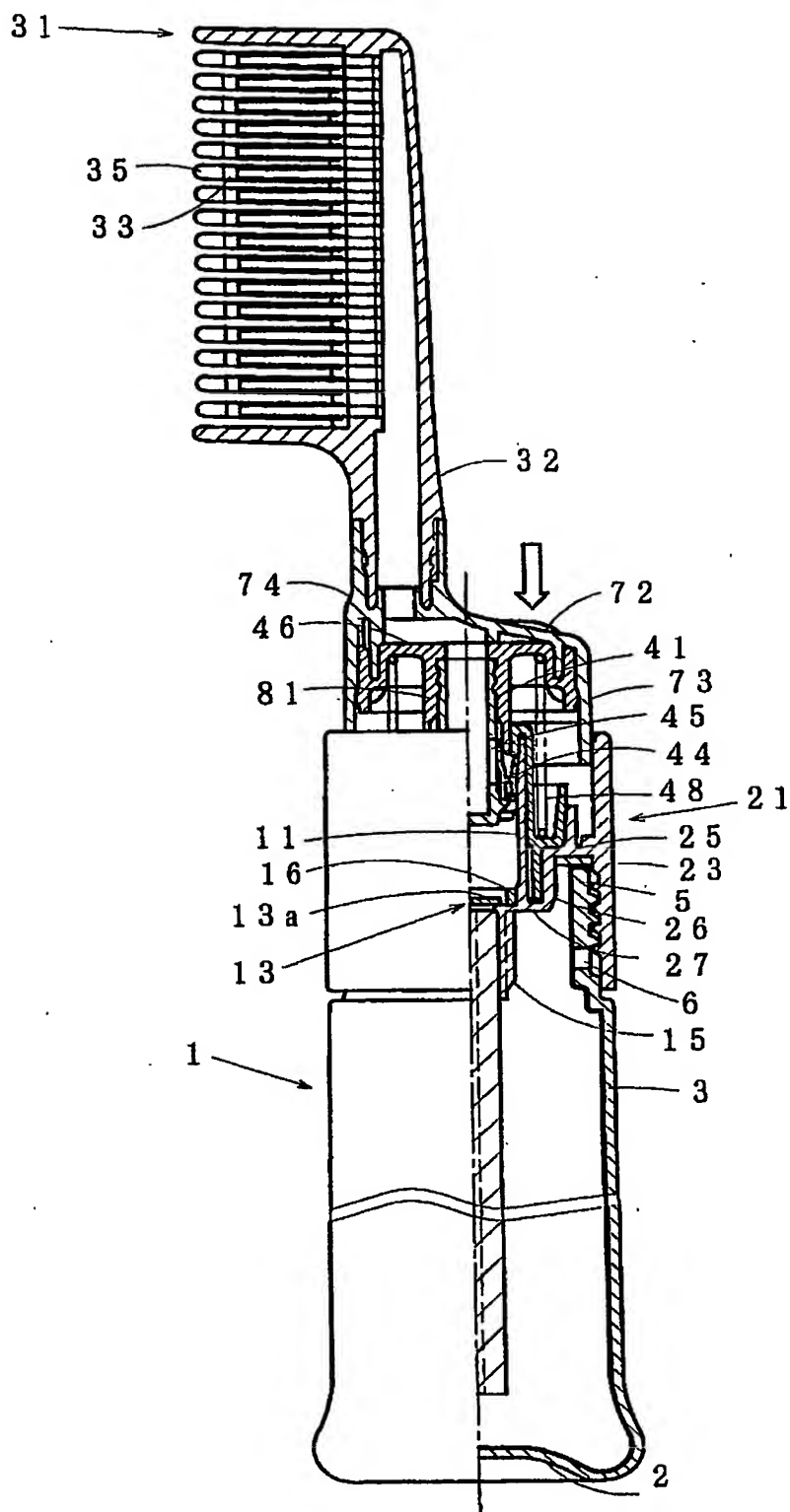
【図 1】



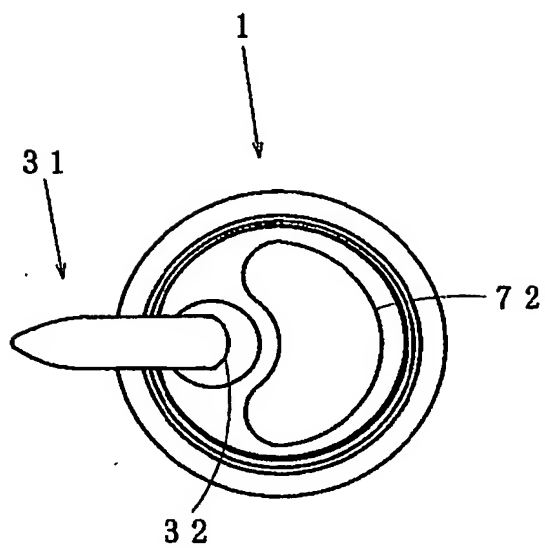
【図 2】



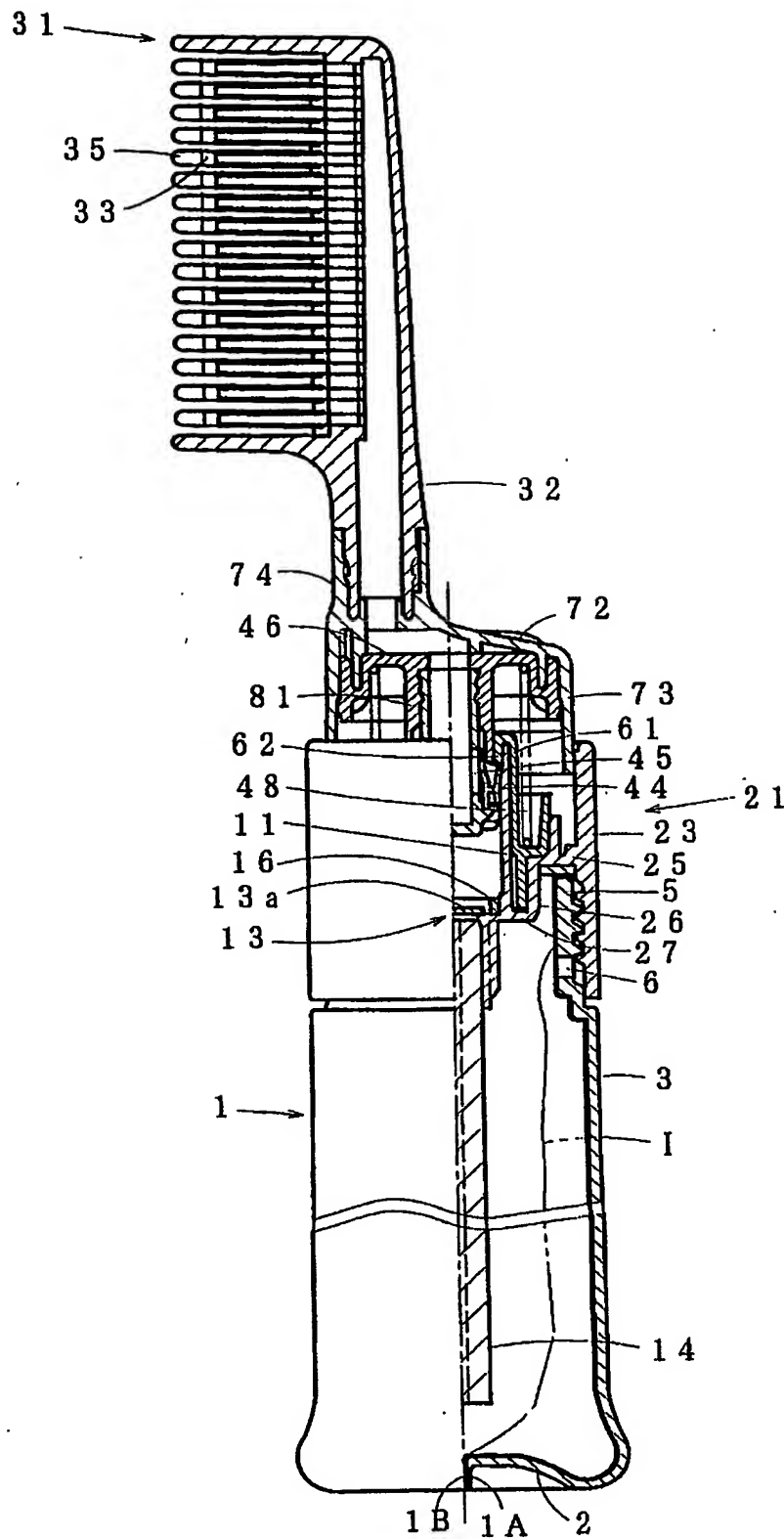
【図3】



【図4】



【図5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 デラミ容器を容器体とした櫛付き塗布容器において、連続して迅速に液体塗布操作をすることができ、かつ表面にシュリンクフィルムを覆合させる場合にそのフィルムにしわなどが生じ難いものを提供する。

【解決手段】 デラミ容器体1の口頸部5外面へ嵌合させたキャップ状部11からシリンダ21を上記デラミ容器体1内へ垂下すると共に、櫛31の柄32から上記シリンダ21内へ下面閉塞のステム41を垂下して該ステム下端部に筒状ピストン42を付設しており、上記デラミ容器体1及びキャップ状部11に対して、柄付き櫛31を介して筒状ピストン42付きステム41を上方付勢させかつ上下可能に形成した。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[000006909]

1. 変更年月日

1990年 8月23日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都江東区大島3丁目2番6号

氏 名

株式会社吉野工業所

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.